
緋弾と最強の姫

UKAMU

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋弾と最強の姫

【Nコード】

N3384Z

【作者名】

UKAMU

【あらすじ】

神の手違いにより死んでしまった神奈木弥生 神に3つ願いを叶えてやるといわれやよいは1つしか願いを言わなかった・・・そして転生・・・

転生した時間はちょうどキンジがチャリジャックをさせている時だった弥生は2年から転校してきた転入生として入学する。弥生・キンジ・アリアこの三人が出会うとき物語が静かに回りだす。

作者です。これが初めて書くネット小説です。駄文になると思いますがよろしくお願いします。1週間に一度ペースで書いていきます。

弾籠めという名のプロローグ(前書き)

UKAMU「初投稿です」

弥生「それだけ？」

UKAMU「うん!」

弾籠めといひ名のプロローグ

??」「・・・きろ・・・」

弥生『うっっん』

??」「・・・起きろ・・・」

弥生が目を覚まし声のするところを見る

弥生『あなたは？』

神「ワシは、神じゃ」

弥生『そうですか・・・』

神「驚かんのか？」

弥生『まあ死んだのは分かってますから・・・』

回想

弥生は^{なま}屈大学の2年生であった。

学校の帰りいつもどおりに帰路についていたが・・・
後ろからトラックが突っ込んで来て当たったと思った瞬間意識が飛んだ

きずいたらここにいた。

回想終了

神「スマンお主はあそこで死ぬハズなかったのじゃ」

弥生『ふえ？どうゆうことですか？』

神「お主はワシの手違いで死んでしまったのじゃ」

弥生『そうですか・・・』

神「怒らんのじゃな」

弥生『だってもう起こってしまったことじゃない仕方ないことよ』

神「そうか・・・ではお主を転生させよう」

弥生『転生？』

神「そうじゃそしてお主が転生する世界は・・・緋弾のアリアの世界じゃ」

弥生『えっ？本当？』

神「うむそして3つ願いを叶えてやるっ」

弥生『やった〜私が行きたかった世界だ〜』

弥生『じゃあRランク並みの戦闘力でいいや』

神「それだけでいいのか」

弥生『うん!』

神「欲のないやつじゃ」

弥生『転生するにはどこに行けばいいの?』

神「その扉をくぐればよい」

弥生「分かったじゃね〜神様」

弥生は扉をくぐっていった

神「行ったかよし!あやつの容姿を絶世の美女にしておくか」

弾籠めという名のプロローグ（後書き）

UKAMU「どうでしたか？」

UKAMU「次は、アリアとキンジに会います」

主人公設定（前書き）

UKAMU「主人公設定の巻〜〜〜」

弥生「真面目にやれ〜〜〜」

ガスツ！！

UKAMU「いた！（；；；）」

UKAMU「グリップで叩くことないじゃないか」

弥生「真面目にやらないからです」

主人公設定

名前 神奈木弥生かたななやよい

性別 絶世の美女「性別じゃない〜」

身長 140.5（開始時）

体重 作者がどこかともなく狙撃されたため白紙だった

スリーサイズ 作者が後ろからデザートイーグル撃ち抜かれたため白紙だがバストはDと書かれていた

容姿 10人中10人が振り返り男女問わず一目惚れしてしまうほど可愛い 髪は、腰まで届くロング 色は、少し緑がかかった青目は少しつり目で紫水晶色アメジスト

性格は、明るいだが怒らせるとめっちゃ怖い 家事・炊事完璧にできる

備考・武貞高に転入してきたなぜかキンジと同じ部屋になる。
アサルト
レン・アッシュケル
強襲科では後に最強の姫として異名を取る

主人公設定（後書き）

UKAMU「いや〜小説書く事がこんなに疲れるとはおもいませんでしたよ〜」

弥生「今更何言ってるの？」

UKAMU「すいません前に書いた小説で次は、アリアとキンジに合うを書く予定だったのに設定を書いてしまいました。

弥生「あちゃ〜〜」

UKAMU「次こそは、アリアとキンジに合うを書かせてもらいます

プロローグキンジSIDE(前書き)

UKAMU「はいとうとう原作介入です。」

弥生「もっと頑張れ〜〜〜^^」

UKAMU「え〜〜〜今回はキンジSIDEで書いていきます。」

弥生「え〜〜〜」

UKAMU「すみません予定を変更して次は武偵憲章を書きます」

プロローグキンジSIDE

~~~~~キンジSIDE

~~~~~空から女の子が降ってくると思うか？~~~~~

昨日似た映画では降ってきたんだ

まあ、映画とかマンガならいい導入かもな

それは不思議で特別なことが起こるプロローグ

主人公は正義の味方にでもなつて、大冒険が始まる

ああ、だからまずは空から女の子が降ってきてほしい！

.....なんていうのは、浅はかって言うもんだぜ

だってそんな子、普通なワケがない

普通じゃない世界に連れ込まれ、正義の味方に仕立てられる

現実のそれは危険で、面倒なことに決まっているんだ

だから少なくとも俺、遠山キンジは

空から女の子なんて降ってこなくていい

俺はとにかく普通に、平凡な人生を送りたい

だからまず転校してやるんだ。このトチ狂った学校から……

……ピンポン……

慎ましいドアチャイムの音で目が覚める。

……いけね。どうやら俺は、トランクス一丁でねていたらしい

枕元の携帯を見ると……時刻は、朝の7時

キンジ「こんな朝から誰だよ……」

居留守を使つてやろうか

だが、あのチャイムの慎ましさ（……）にイヤな予感がする。

もそもそ、とワイシャツをはおり制服のズボンをはくと、

俺は1人で住むこの広いこのマンションの部屋を渡り……

ドアの覗き穴から、外を見た

するとそこに……やつぱり

キンジ「……う」

白雪が、立っていた

何やってるんだこんなところで

ガチャ

キンジ「白雪」

白雪「キンちゃん」

キンジ「その呼び方、やめろっていったろ」

白雪「あっ……ごめんね」

星伽白雪

キンちゃんという呼び方でわかるように俺とこいつは幼馴染だ

キンジ「とにかく入れ」

白雪「お……邪魔します」

キンジ「で、何しにきたんだよ」

白雪「こ、これ」

和布わふの包を解きそして出てきた漆塗りの重箱を俺まえにさし出す

キンジ「これ作るの大変だったんじゃないか？」

白雪「う、ううんちょっと早起きしたただけ」

白雪の作った弁当を食べ腹がいっぱいになったところで

キンジ「えっといつもありがとな」

白雪「えっ、あ、キンちゃんもありがとう」

土下座つぽくなった白雪の胸をつい……本当につい見てしまった
くっ黒はないだろう！

じわっ

体の芯に血が集まるような、あな、危ない感覚がしてきた
ダメだ！

禁止しているんだ、俺は

こっこのを（……………）自分に

キンジ「……………」ごちそうさま

ふう、どうやらセーフ（……………）だったみたいだな

白雪はソファ―に放られていた武偵高の学ランをとってきた

白雪「キンちゃん今日から一緒に2年生だねはい防弾制服

俺がそれを羽織ると、今度は拳銃も持つてくる

キンジ「……………始業式ぐらい、銃は持たなくていいだろう」

白雪「ダメだよキンちゃん、校則なんだから」

校則……………」武偵高の生徒は、学内での拳銃と刀剣の携帯を義務ず
ける』、か

ああ、普通じゃない（……………）

ウンザリするほど普通じゃないんだよ武偵高は！

白雪「それにまた『武偵殺し』みたいのが出るかもしれないし……………」

キンジ「……………」武偵殺し』？」

白雪「ほら、あの連続殺人事件のこと」

キンジ「でもあれは逮捕されたんだろ？」

白雪「でっ、でもまた模倣犯もほうはんが出るかもしれないし」

キンジ「分かった分かったこれで安心だろ」

俺は、溜息をつき、ナイフも〜〜兄の形見の、バタフライ・ナイフだ〜

棚からだしてポケットに収める

白雪「キンちゃんかっこいい、やっぱり先祖代々の『正義の味方』って感じだよ」

キンジ「やめてくれよ〜ガキじゃあるまいし」

キンジ「・・・俺はメールチェックしたら行くから、お前は先に行っとけ」

白雪「あっ、じゃあ、そのあいだにお洗濯とかお皿洗いとか〜」

キンジ「いいからっ！」

白雪「・・・は・・・はいじゃあ先行ってるね」

・・・ふう

やっとめんどくさいのが帰ってくれたぜ

だらだらどメールを見る

だらだら、だらだら・・・と時刻は7時55分になっていた
しまったちよっとだらだらしすぎたか

〃〃58分のバスには乗り遅れた

〃〃〃生涯

生涯俺はこの7時58分のバスに乗り遅れたことを悔やむだろう

なぜならこのあと、空から女の子が降って来てしまったんだから

神崎^{かんざき}・H・アリアが……

プロローグキンジSIDE (後書き)

UKAMU「どうでしょうか」

弥生「全然原作と変わってないじゃない」

UKAMU「まあ、そりゃ〜」

UKAMU・弥生「感想お待ちしております」

武偵憲章（前書き）

UKAMU「とうとうゆつ」とで武偵憲章です」

弥生「わ〜〜〜」

UKAMU「あからさまに棒読みじゃん」

弥生「だっていつになったら本文書き始めるの？」

UKAMU「今週中には」

武偵憲章

- 1条 仲間を信じ仲間を助けよ。
- 2条 依頼人クライアント契約は絶対に守れ。
- 3条 強くあれ。但し、その前に正しくあれ
- 4条 武偵は自立せよ。要請なき手出しは無用のこと。
- 5条 行動に疾くあれ。先手必勝を旨とすべし。
- 6条 自ら考え。自ら行動せよ。
- 7条 悲観論で備え、楽観論で行動せよ。

8条 任務は、その裏の裏まで完遂^{かんすい}すべし。

9条 世界に雄飛^{ゆうひ}せよ。人種・国籍の別なく共闘すべし。

10条 諦めるな。武偵は決して、諦めるな。

武偵憲章（後書き）

UKAMU「今回はなしです」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3384z/>

緋弾と最強の姫

2011年12月11日21時49分発行